

説明文を書こう 水でつぼうの作り方

年 組 名前

☆ 次の説明書を読んで、一年生に、水でつぼうの作り方を伝える文を作りましょう。  
順じよを表す言葉を使って、手順がよく分かるように、気をつけて書きましょう。  
順じよを表す言葉は、後ろの□から、選んで書きましょう。

水でつぼうの作り方説明

☆用意する材料

☆使う道具

- ・竹のつつ
- ・細長いぼう
- ・くぎ（二本）
- ・ぬの
- ・たこ糸

- ・のこぎり
- ・きり
- ・かなづち

- ③②① 竹のふしの部分を少し入れて、のこぎりで切る。  
きりで、ふしにあなをあける。  
ぼうに、くぎをうち、ぬのとたこ糸をまきつける。

それぞれ、注意することを書き加えましょう。  
最後に、遊び方を書いておきましょう。

竹のつつをつかって、水でつぼうを作りましょう。

□

□

□

順じよを表す言葉

はじめに

次に

最後に

# 説明文を書こう 水でつぼうの作り方

年 組 名前

☆ 次の説明書を読んで、一年生に、水でつぼうの作り方を伝える文を作りましょう。  
順じよを表す言葉を使って、手順がよく分かるように、気をつけて書きましょう。  
順じよを表す言葉は、後ろの□から、選んで書きましょう。

水でつぼうの作り方説明

☆用意する材料

☆使う道具

- ・竹のつつ
- ・細長いぼう
- ・くぎ(二本)
- ・ぬの
- ・たこ糸

- ・のこぎり
- ・きり
- ・かなづち

- ① 竹のふしの部分を少し入れて、のこぎりで切る。  
② きりで、ふしにあなをあける。  
③ ぼうに、くぎをうち、ぬのとたこ糸をまきつける。

それぞれ、注意することを書き加えましょう。  
最後に、遊び方を書いておきましょう。

竹のつつをつかって、水でつぼうを作りましょう。

## はじめに

竹のつつを用意します。ふしのところを少し残して、のこぎりで切ります。このとき、手を切らないように、気を付けましょう。

## 次に

ふしのまん中をさがして、印をつけます。印のところに、きりの先をあてて、力をいれて中にさします。きりの先は、大変とがっているので、まちがえて手にささないように気を付けましょう。

## 最後に

細長いぼうを、用意します。ぼうの先に、かなづちでくぎを二本打ちます。

くぎはそれぞれ、反対の方からうちます。そこに、ぬのを何回もまいて、竹のつつの中の太さと同じにします。その上から、たこ糸をぐるぐるまいて、しばります。糸がゆるまないように、しっかりとまきましよう。これで、水でつぼうのできあがりです。

つつの中に水を入れて、ぼうをおすと、水がいきおいよく出ます。

友だちと、なかよく遊びましょう。

順じよを表す言葉

はじめに

次に

最後に